



本校は千葉県八千代市の西部に位置し、全学年15クラスの計359名の児童が在籍しています。
本校の学校保健目標である「心身ともに健康で安全な生活ができる児童を育てる」のもと、歯・口の健康づくりから、よりよく生き抜く児童を育てています。下記は、主な歯科保健活動と取り組み内容です。

(1) 保健教育

① 「歯・口の健康づくり」学年別指導計画の作成・実践

歯・口の健康づくりに関する保健教育を、実施している学年としていない学年があったため、「歯・口の健康づくり」に関する学年別指導計画を作成し、実践しています。

② 歯垢染色(全学年)

毎年夏休み中に、家庭で歯垢染色の実施を依頼し、歯みがきカレンダーとともに結果と感想を記入し提出してもらっています。

③ 個別指導の実施

歯科検診の結果、C、CO、GO(Gは該当なし)の児童について、養護教諭が個別指導を実施しました。



(2) 保健管理

① 歯科用の保健調査票の作成と活用

個々の状況に応じた健康診断を実施するため、歯科用の保健調査票の作成を行いました。

② 臨時健康診断としての歯科検診

個別指導を実施した児童の口腔衛生状態が改善されているのかを把握すること、また、6年生児童については、う歯のない状態で中学校へ送り出したいとの思いから、臨時歯科検診を実施しました。

(3) 組織活動

① 校内研究推進会議

「歯・口の健康づくり」に関する学年別指導計画を検討しました。また、研究の方向性・研究主題、研究の進め方について協議しました。

② 学校歯科医との連携

保健教育の指導案の作成から授業実践まで、学校歯科医と綿密な打ち合わせを行い、実施をしています。

コロナ禍で、「歯・口の健康づくり」の取り組みが進まないところもありますが、感染拡大状況をみながら実践を継続しています。校内連携に加え、地域や他職種との連携・協働を図り、推進するようしていきたいです。